

平成24年第1回定例会
戦略企画雇用経済常任委員会

◎ 所管事項

- 1 平成24年度三重県職員採用候補者A試験について（人事委員会事務局） …… 1頁
- 2 平成24年版成果レポート（案）について（出納局） …………… 3頁

平成24年6月

人事委員会事務局
出 納 局

1 平成 24 年度三重県職員採用候補者 A 試験について

人事委員会事務局

I 実施日程等

〈第 1 次試験〉

実施日 平成 24 年 6 月 24 日 (日)
 実施会場 県立津高等学校 (津市)
 第 1 次合格者発表日 平成 24 年 7 月 13 日 (金) (予定)

II 申込状況 (6 月 4 日締切)

試験区分	採用予定数	申込者数 A	昨年度の状況		増減率 (A-B)/B	
			採用予定数	申込者数 B		
一般行政分野	行政 I	37	616	22	651	-5.4%
	行政 II	9	184	5	158	16.5%
福祉分野	福祉技術	7	42	4	46	-8.7%
環境分野	環境	2	25	2	28	-10.7%
	化学	4	43	3	56	-23.2%
	林学	6	27	5	24	12.5%
自然分野	農学	6	61	10	65	-6.2%
	水産	2	29	2	21	38.1%
工学分野	総合土木	21	48	18	63	-23.8%
	建築	4	28	6	32	-12.5%
	電気	2	24	1	29	-17.2%
	機械	3	27	2	18	50.0%
	警察建築	1	5	-	-	-
健康衛生分野	薬剤師	1	10	1	15	-33.3%
	保健師	3	23	3	16	43.8%
	管理栄養士	-	-	1	35	-
合計		108	1,192	85	1,257	-5.2%
うち行政		46	800	27	809	-1.1%

【A 試験一般行政分野 (行政 I・行政 II) 採用試験申込者数の推移】

年度	採用予定数 A	申込者数 B	競争率 B/A
H24 年度	46	800	17.4
H23 年度	27	809	30.0
H22 年度	27	880	32.6
H21 年度	28	701	25.0
H20 年度	28	630	22.5
H19 年度	29	568	19.6

《参 考》平成24年度の試験実施日程

試 験 名		受付期間	第1次試験	第2次試験	最終合格発表	
三重県職員採用試験						
A試験		5月15日～ 6月4日	6月24日	7月22日～ 8月7日	8月21日 (予定)	
B試験		7月27日～ 8月27日	9月23日	10月中旬	11月上旬	
C試験						
警察官採用試験						
警察官 A	平成24年 10月採用		3月21日～ 4月23日	5月12日 5月13日	6月11日～ 6月15日	7月20日 (予定)
	平成25年 4月採用	1回目	3月21日～ 4月23日	5月12日 5月13日	6月12日～ 6月21日	7月20日 (予定)
		2回目	7月27日～ 8月27日	9月15日 9月16日	10月下旬～ 11月中旬	12月上旬
警察官 B	平成25年 4月採用		7月27日～ 8月27日	9月16日	10月下旬～ 11月中旬	12月上旬
市町立小中学校職員採用試験						
B試験		7月27日～ 8月27日	9月23日	10月中旬	11月上旬	
C試験						

【担当部局：出納局】

平成 27 年度末での到達目標

適正かつ効率的な会計事務をめざした会計制度および公正で透明な入札・契約制度のもとで、会計事務担当職員が適正な会計事務を行うための会計支援が行われています。また、支払資金が安定的に確保された上で余剰資金が安全で有利に運用されるなど、県の公金が適正に管理されています。

平成 23 年度 of 取組概要

- ・ 各所属からの会計相談への対応（相談件数 8,171 件）、本庁、地域機関を合わせて 213 の所属に対する事前検査・事後検査の実施（指導件数 798 件）、職場訪問（OJT*研修、フォローアップ）、各種研修の実施（参加者延べ 1,298 人）など各所属の出納員、会計職員を日常的にサポート
- ・ 物件等電子調達システムの安定稼働と機能改善（4 項目）を実施
- ・ 印刷物調達について、品質確保のため最低制限価格制度の導入に向けた検討を実施
- ・ 収支見込額の的確な把握を行い、支払資金の安定的な確保、余剰資金や基金の安全で有利な運用を実施
- ・ 自動車税等のペイジー収納*に加え、クレジットカード収納など県歳入金の収納方法の多様化について情報収集
- ・ 予算編成から決算管理・決算統計まで行う財務会計システムを安定稼働
- ・ 市町とともに会計事務標準化・財務会計システム共同アウトソーシング*研究会を県内ブロックごとに計 14 回開催

平成 23 年度 of 取組の検証（得られた成果、残された課題）

- ・ 会計事務に是正・改善を求める監査意見数は実施 1 か所あたり 3 件以上となっており、今後さらに、この件数を減少させる必要があります。
- ・ 物件等電子調達システムの機能改善により利便性が高まりました。今後、次期システム更新に向けての検討を行う必要があります。
- ・ 設計金額 100 万円以上の印刷物調達について、平成 24 年 4 月から最低制限価格*制度を試行導入しました。今後、効果の検証を行う必要があります。
- ・ 公金の管理について、資金保全率 100%を確保し、歳計現金で 0.117%、基金で 0.154%の運用利回りを確保しました。
- ・ 収納方法の多様化については導入コスト等が課題であり、今後さらに、費用対効果の観点を含め検討が必要です。
- ・ 研究会で、各市町の財務会計システムや公金収納フローを調査しました。今後、その調査結果を各市町に情報提供する必要があります。

平成 24 年度の改善のポイントと取組方向

- ・ 会計事務に関する事前検査・事後検査および各種研修を引き続き実施するとともに、本庁および地域駐在による各所属への会計支援を、よりきめ細かく行うため、職場訪問の重点化や対象者に応じたOJT研修の実施などを行います。
- ・ 物件等電子調達システムの安定稼働を行うとともに、次期システム更新に向け、公共工事システムとの統合も視野に検討を進めます。
- ・ 試行導入した印刷物調達の最低制限価格制度について、実績に基づき効果を検証していきます。
- ・ 資金の安定的な確保と安全で有利な運用を引き続き行います。
- ・ 収納方法多様化について、導入済の他の自治体の状況も参考にしながら、クレジットカード収納の導入などを関係部局と連携して取り組んでいきます。
- ・ 財務会計システムの安定稼働を行うとともに、次期システム更新に向け、さらなるシステム運営経費の削減とセキュリティの確保の検討を始めます。
- ・ 研究会での調査結果に基づき、会計事務の標準化や市町の財務会計システムの共同アウトソーシングの促進に向け、市町と連携し検討します。
- ・ 県が発行する納付書の統一化に向け、財務会計システムの納付書をペイジー標準帳票へ変更する取組を行います。

県民指標				
目標項目	23 年度	24 年度	27 年度	目標項目の説明
	現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	
県の会計事務に是正・改善を求める監査意見数(実施1か所あたり)	—	3.1 件 以下 (23 年度)	2.8 件 以下 (26 年度)	監査委員が毎年度実施する定期監査結果の財務事務の執行に関し是正・改善を求める意見の総計(人件費に関する事務等への意見を除いた収入、支出誤り等に関する意見数)を監査実施箇所数で除した数値
	3.2 件 (22 年度)	—	—	
目標項目を選んだ理由				平成 24 年度目標値の設定にあたっての考え方
財務事務の執行に関しての是正・改善を求める意見数が減少することが、適正な会計事務の確保につながると考えられることから選定しました。				現状値から 0.1 件減少させることを目標として設定しました。

運営責任者からのコメント 出納局 副局長兼出納総務課長 奥野 元洋 電話：059-224-2771

- ・ 職員一人ひとりが法令や規則に基づき適正な会計事務を行うことが基本であり、そのため会計事務に関する検査・相談・研修をきめ細かく行い、日常的にサポートしていきます。
- ・ 公金の支払い方法を多様化することで県民の皆さんの利便性の向上を図るため、個々の収納業務を所管している各部局と連携し、クレジットカード収納の導入などを図ります。
- ・ 市町の財務会計システムの共同アウトソーシングは、導入のコストやそのタイミングなど解決すべき課題は多くありますが、災害時の業務継続という趣旨からも、その実現に向けさらに市町と検討していきます。
- ・ 会計事務の標準化に向け、その第一歩として、財務会計システムで発行する納付書を国などが採用している様式へ変更する取組を行います。

(単位：百万円)

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
予算額等	253	280			

活動指標	23 年度 現状値	24 年度 目標値	27 年度 目標値	目標項目の説明
出納局が行う会計支援の満足度	3.28	3.36	3.60	出納局が行う相談や研修などの会計支援業務全般に対してどの程度満足したかを、アンケートにより各所属が4段階評価し、その評価を平均した数値

対応する基本事業

40401

会計事務の支援

目標項目を選んだ理由	平成 24 年度目標値の設定にあたっての考え方
出納局の会計支援に対する満足度を見ることで、各所属の会計事務遂行への寄与を測ることができると考えられることから選定しました。	平成 27 年度目標値を、4段階評価の満点4点の9割(3.6)に設定し、その目標値に向け4カ年で達成できるように設定しました。

活動指標	23 年度 現状値	24 年度 目標値	27 年度 目標値	目標項目の説明
資金保全率	100%	100%	100%	ペイオフ*対策により運用資金の保全が図られている割合

対応する基本事業

40402

公金の適正な管理

目標項目を選んだ理由	平成 24 年度目標値の設定にあたっての考え方
公金の運用については、元本の安全確保を最優先とし、歳計現金および基金等それぞれの元本の保全が必要であることから選定しました。	公金の管理運用においては常に資金全体の元本の保全の必要があることから、目標値を 100%と設定しました。